

普及活動情勢報告（令和4年11月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

吾北での高品質なニラ苗生産のために
～いの町農業公社でニラの育苗研修会を実施～



11月22日、いの町農業公社で、篤農家の協力のもと公社職員2人を対象にニラの育苗研修会を開催しました。農業改良普及課からは、育苗の基礎と昨年までの反省、改善点について説明しました。篤農家からは、播種時のかん水に動噴を用いることでより柔らかくかん水ができることや、根切りネットの導入などの提案がなされ、有益な情報を共有することができました。

公社の職員からは「大型トンネルの開け閉めをする目安の温度はあるか」「点滴チューブを使えばかん水のムラが少なくできるか」等、積極的に質問が飛び交い、有意義な研修会となりました。

農業改良普及課は、今後も高品質なニラ苗が生産できるよう、引き続き支援をしていきます。

シートベルト着用で命を守ろう！
～キュウリ現地検討会でトラクター事故の予防対策をよびかけ～



11月9日、土佐市のキュウリ生産者のほ場で、現地検討会が開催され6人の参加がありました。

生産者はかん水管理や追肥量、子枝の更新タイミングなどを確認していました。

農業改良普及課からは、農作業事故による死亡者数が建設業等に比べて多いことや、事故の防止策について説明しました。

参加者からは、シートベルトの着用で死亡率が大きく減少することに関心がよせられました。

農業改良普及課は、キュウリの作終了時に再度よびかけ、事故防止に繋げていきます。

今年もどっさり「はちきん芋」が採れました！
～いの町小野営農組合が実証ほではちきん芋を収穫～



11月18日、いの町の小野営農組合は、実証ほで栽培していたはちきん芋の収穫を、組合員5人といの町役場など関係機関の協力も得ながら行いました。

農業改良普及課は、種芋の大きさと株間の違いで収量や大きさにどう影響するかの調査を支援しました。組合員は「ちょっと大きすぎて、直販には向いてないなあ」と大きさにびっくりしながら楽しく約340kgの収穫を行いました。

農業改良普及課は、今回の試験結果のまとめや、関係機関と連携してふるさと納税返礼品としての送付など、はちきん芋の有利販売に向けて支援していきます。

「さといろジャム」の商品力向上に向けて
～6次産業化支援チーム会を開催～



11月10日、いの町立吾北中央公民館で6次産業化支援チーム会を開催し、吾北地区の加工事業者1人と関係機関2人が参加しました。

農業改良普及課がコーディネートしながら、高知農山漁村発イノベーションサポートセンターの6次産業化アドバイザーの指導のもとジャムのラベルやPOP等について協議しました。

アドバイザーから、客を惹きつけるパッケージデザインの作り方やポイントについて助言をいただき、加工事業者はパッケージの改良に向けて具体的にイメージすることができました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して商品力向上に向けて支援していきます。